

〈論文〉

明海 Google 言語地理学 3

Google 言語地理学入門

Introduction to Google Linguistic Geography

井上史雄

キーワード：グーグルマップ，世界言語地理学，言語間方言学，気づかない方言，新方言

0. はじめに

グーグルマップ Google maps の機能を活用すると，新しいタイプの言語地図，特に世界全体の言語地図が描ける。店名の位置を示すグーグル地図を広範囲にすると，国家全体さらに世界全体を示せる。この技法により，新しいタイプの言語間方言学または世界言語地理学が開発できる。開発されて間もない手法で，多くの可能性を秘めている。多種類の地図を通じて世界および日本の言語使用状況を確認することにより，現代世界の言語についてのとらえ方がまったく変わる。

Google マップによる情報は，言語の系統的分類と国家の領域，公用語としての地位などを使って，いくつかの層 layers をなすものとして，分類できる。いずれも High-Low の階層 hierarchy をなすと考えられる。地域差が2言語以上か，1言語内かによって分けられるが，連続的である¹。考察する地図が，2言語以上，かつ2国家以上が，狭義の言語地図で，その中間は，言語間方言学で，1言語内，1国家内に限られるのが狭義の方言地図である。

1. 言語地図 Linguistic maps

1.1. 超国家的な外国語使用

まず一番上層の言語使用として，世界の（言語景観の）多言語化が進んでいることを（井上 2001），Google マップで確認できる。Google 景観言語学が可能で，この技法は人工衛星からのリモートセンシングにあたる。これに対して，従来の街頭での写真撮影による景観言語学は，ボーリング調査にあたる。Google street view の利用は，表面採集に相当する。

Google マップで見ると，各国語の歓迎のあいさつ（Aloha, assalam, shalom, bonjour, bon dia, dobry den, Guten Tag, namaste, sawatt dii, selamat, kalimera）が全世界で使われるのが典型である。これは，世界各地の空港や観光地，商店街の現地調査で多言語表示が観察されるのと並行的で

ある（井上 2000）。主に言語の市場価値（商業的使用）を反映し、学術的使用、外国語教育とレベルを異にするが、表層の出現状況は共通である。多くは外国人観光客・短期滞在者・移民に向けたものである。公共表示や商業看板の多言語表示の反映だが、公用語のみのモノリンガルの地元民には、知的情報伝達に役立たないし、読めない、分からない。つまり実質的情報が伝わらないので、多くは公用語と併記される。

店名やその宣伝などでも、世界各地で多言語使用が見られる。英語の進出はグローバル企業にもよる。中国語の進出は華僑によるのか、「超市・公司」が中国以外に東南アジアでも使われる。また Chinese food, Chinatown 他の語で検索すると、中華料理店、中華街が世界中に広がっていることが分かる。Ristorante, taverna, kosher, halalなどで検索すれば、エスニックレストランの人気度も測れる。Google street view を利用すれば、移民集住地の手がかりがつかめる。

1.2. 世界言語地理学 国際的言語差・国際英語

英語などの主要言語の世界的受容も地図で示せる。店名のhappyなど基本英語が店名などで中国をはじめとする世界に進出している現状、さらに借用語の相互乗り入れが見られる。各民族の特有語（aozai, kimchi など）は全世界で使われる。また近代・現代借用語については新たな地域差が生じている。ファクス *telecopie, fax*, コンピューター *computer, ordinateur*, ケータイ *mobile, cell phone* の呼称など。現代は言語差のグローバル化が進み、世界的言語差または新たな国際的方言差が生まれている。

借用語は、社会言語学の視点から興味深い現象を呈する。発信と受容の言語ごとに、語彙論の観点から考察した研究は多い。しかし世界中の多くの言語にどのように受容されたかの研究は、「茶」「ポテト」のように近世以降全世界に広がった語についてを除き、そう多くはない。

ところが、インターネットで検索できる Google マップ (Google maps) の機能を使うと、単語について、広い地域、世界中の使用状況が分かる。これまでこれほど手軽に全世界の借用語の状況を知る手法がなかった。相互の借用を考えると、候補の単語はそれこそゴマンとある。

1.3. 国際日本語（日本語発の借用語）外行語

日本語については、外来語という語はよく用いられるが、その反義語として唱えられた「外行語」（三輪 1977）は普及していない。英語の *borrowing* に対して *lending* があまり使われないと平行的である。「国際日本語」「英語になった日本語」などの表現で、多くの研究者が扱っている（早川 2006, 原口 1998）。しかし英語以外の言語への外行語の状況は、個々の論文や辞書の情報を集めるしかなかった。

Google マップで検索してみると、日本語が外行語として、アメリカ・西欧・オセアニアに進出している。bonsai, dojo, kawaii など。他にあいさつ *arigato, sayonara, banzai, yokoso*, 有名な単語 *sakura, kimono, shiitake, Doraemon, kanban, karaoke, ninja, Nintendo, otaku*, 特有語 *aikido, zori, budo, bushido, chawan, hibachi, kaki*; hobo, honcho, skosh, tsunami など。英語への取り入れ、ア

ジアでの日本語人気などは話題になるが、世界全体の様子は分かりにくかった (井上 2001)。Google マップによって、世界各地に日本語が進出していると読み取れる。

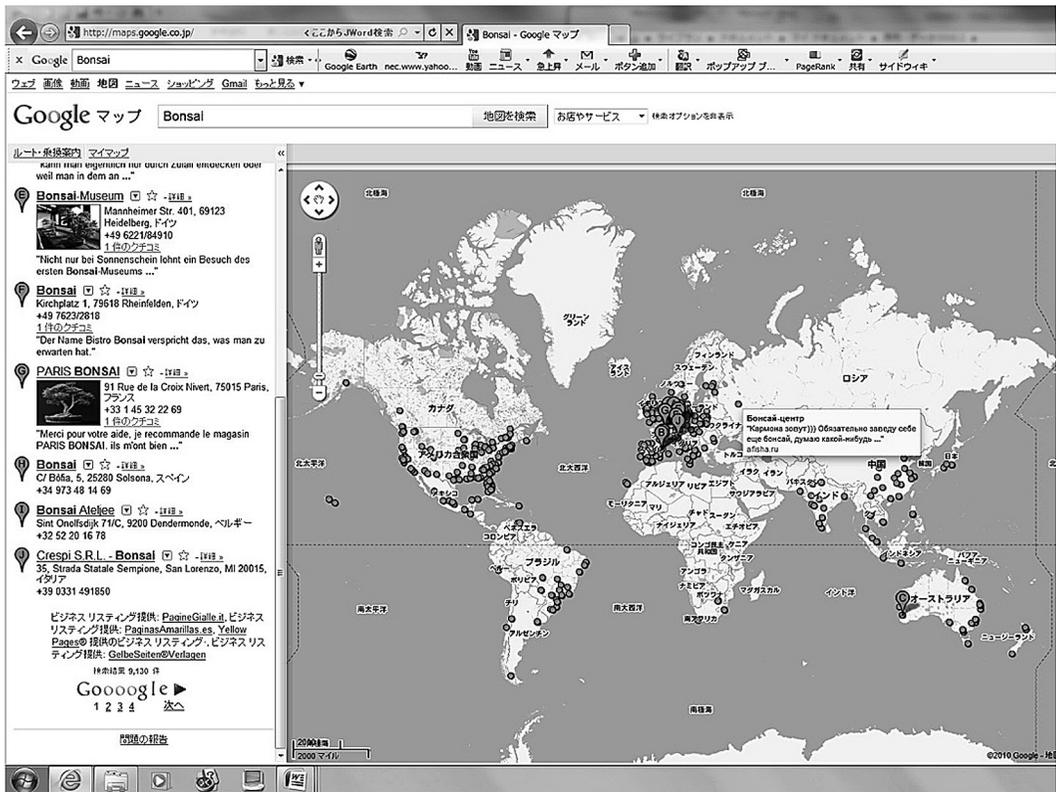


図1 bonsai (盆栽)

1例を示そう。図1は、Bonsaiで検索した世界地図である。最初は狭い地域の地図が出て、その地域の店名やクチコミ情報のある地点が表示される。画面左上の柱をマイナス方向に動かすと、国全体、世界全体の地図になる。Bonsaiは英語になった日本語として有名だが、地点の分布範囲は英語圏だけではない。ヨーロッパ全部をおおい、南米のスペイン語・ポルトガル語圏に広がり、中国からインドにかけてのアジア諸国でも使われる。地点やバルーンをクリックすると店名やクチコミの中身が分かる。ロシアの店名はロシア文字だったので、コピーして新たに左上の検索語らんにペーストして検索したら、ロシアはじめ全世界でBoncaйが使われていることが分かった。Bonsaiという単語が広がったのは、もちろんその実物が世界に広がったためである。

1.4. 借用語の相互乗り入れ

現在は借用語の相互乗り入れが見られる。日本語がアメリカ・西欧・オセアニアに進出しているが、アジア諸言語、ヨーロッパ諸言語も同様である。Kimchi, Nii haoなどが店名やクチコミで世界中に出る。世界全体で借用語を増やしつつあると、読み取れる。

2. 言語間方言地図 Interlingual dialect maps

2.1. 方言の国際進出（言語間方言学）

現在は日本国内の方言差と同時に世界の言語での違いも観察される。言語 language と方言 dialect の相互乗り入れが見られる。借用語の二重の相互乗り入れと言える。方言が海外で借用語として使われるのは 1.1 に対応するもので、現地人に理解不能なものが多い。日本の関西弁が際立つ（井上 2010.11）。Oideyasu, okini, maido, kiteya, mattari, hannari など。東北弁 menkoi, umakanbe, yokap-ppe；九州弁 umaka, yoka；沖縄語 Uchinanchu, haisai など。また関西でいう「関東煮（かんとうだき）＝おでん」のアジアでの使用など。

2.2. 借用語受容の方言差（言語間方言学）

またアジアからの外来語やアジアとの共通発想の語が西日本に分布する。モータープール（井上 2011.1a）、体操・体育・運動＋着・服（井上 2010.12）。明太子、太平燕、ザンギ・センザンギ（鶏カラ）など。バンドエイド band aid は海外でも使われる。

一方海外で方言差のある言い方が、日本に定着することもある。「飲茶、チャーシュー、しゅうまい」は広東語起源である。気象現象の「フェーン」も一例である。

2.3. 他の言語の共通発想（言語間方言学）

日本国内の漢語が中国などでも共通に使われることがある。「除雪」などである。図 2 に示すように「校区」は西日本の表現だが、中国でも使われる。東日本の「学区」も中国で使われる。

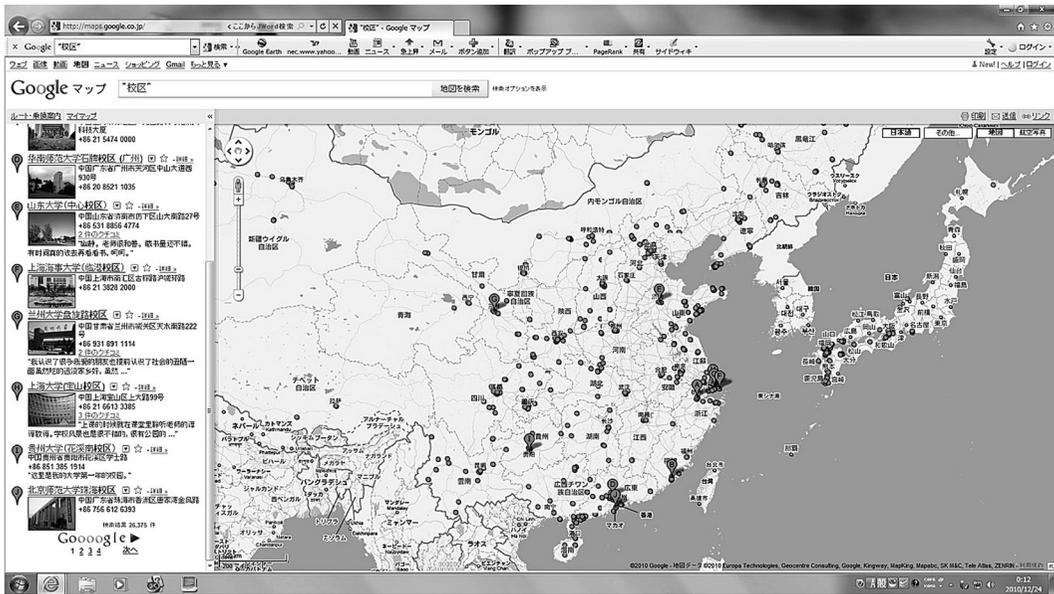


図 2 校区（通学区域）

3. 方言地図 Dialect maps

3.1. 大陸間方言差（一言語内方言学）

英語・スペイン語・ポルトガル語などでは1言語内でも大陸間の違いがある。これを世界地図に示せる。英米のTake awayとTake outの違いなど。図3のsophomoreはアメリカ英語だが、全世界で点々と使われる。

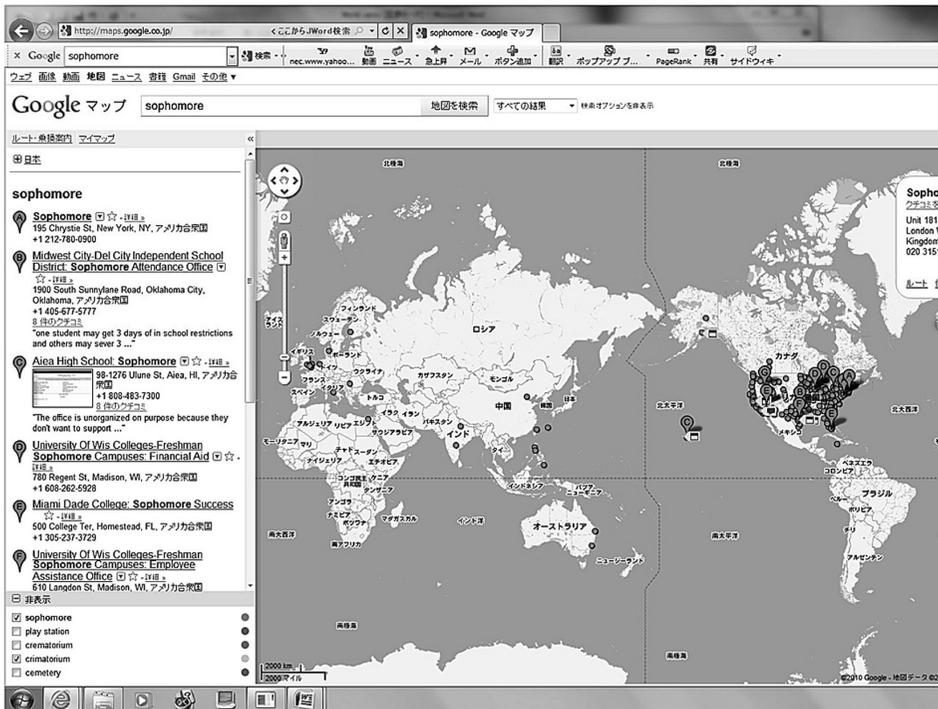


図3 Sophomore（大学2年生）

3.2. 方言の活用

国内で方言店名が経済言語学的に活用されている状況が地図で分かる。方言店名として「うまかもん、ちかっぱ、よかにせ、てげてげ、だれやめ、ずくなし、きときと、おんぼらーと」などが、全国各地で使われている。

3.3. 言語内・国内方言学

地域共通語や、気づかない方言（生ずし、中ズック、宅習、三角座り、押しピン、車校・車学）の使用域が分かる（井上2011.1b）。図4の「なまずし」という名称の背景には、すしの歴史、江戸前の握りずしの普及過程がある。

新方言「ええじゃん、なまら、よさげに、違かった」などについても、現在の使用地域の広がりがある。図5によると新方言「なにげに」は、今は全国のクチコミで使われる。

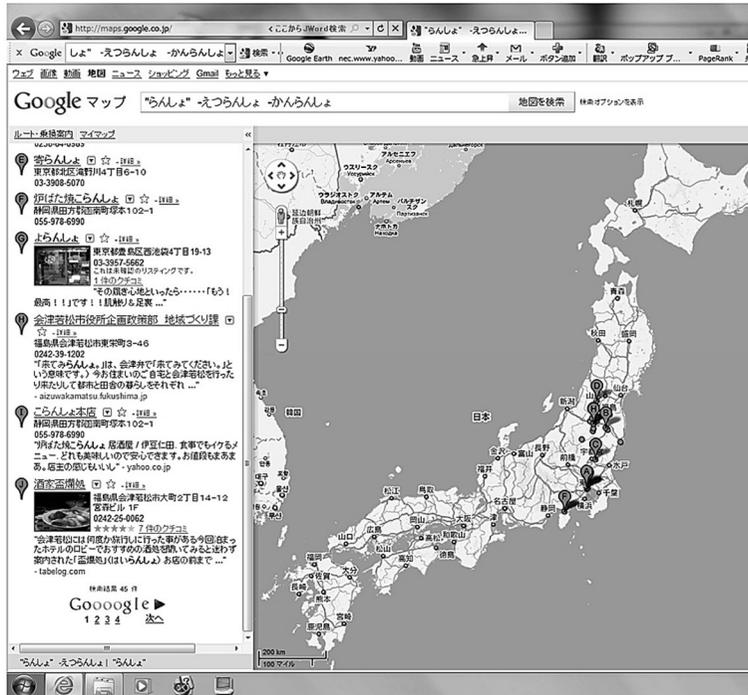


図6 らんしょ (~なさい)



図7 行ける (れ足すことば)

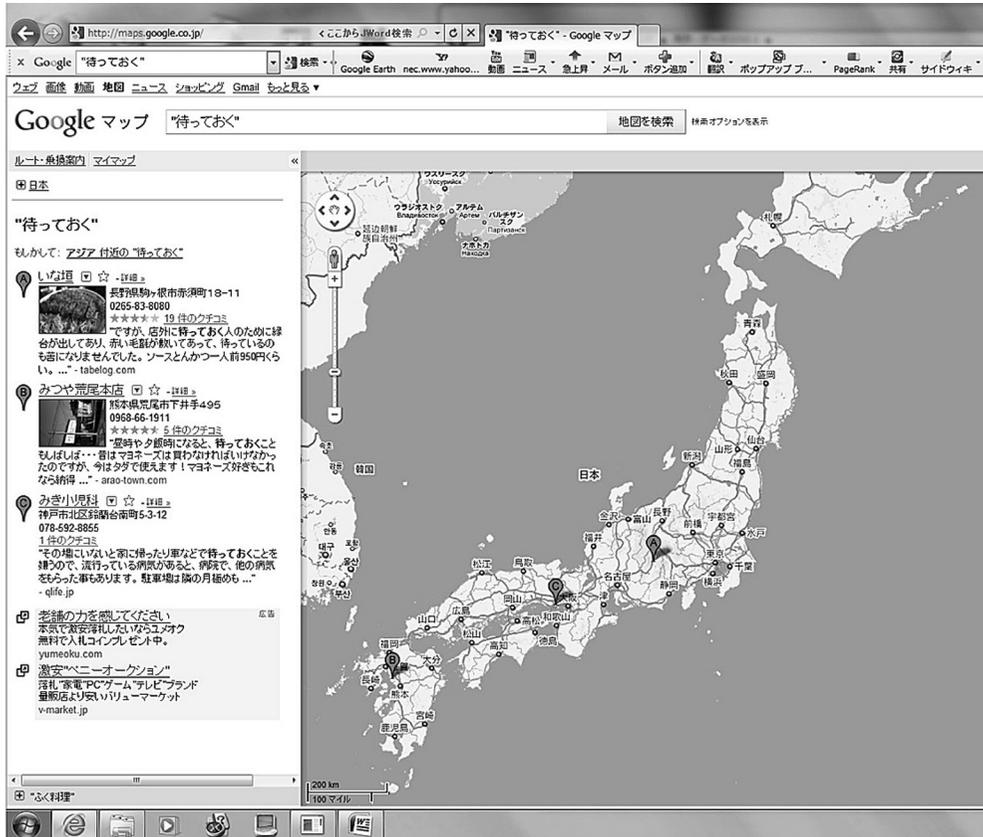


図8 帰っておく（アスペクト表現）

単語の一部分でも検索できるので、“～らんしょ”で終わる方言の命令表現が関東近辺で使われることが、地図上で分かる。図6に示した。

フレーズも扱えるので、待遇表現（させていただく）、ら抜きことば、さ入れことば、れ足すことば（図7）の方言差も分かる。つまり方言辞典や方言記述に表れない現象について、地図にできる。また「気づかない方言」の一つとして、「（～ている）にあたる）アスペクト表現の「待っておく、立っておく」などが西日本で使われることが分かる。図8参照。

4. 地図作成の技法

4.1. Google マップの基礎技術

これまで数百枚の言語地図を作った。手軽で、1図作成に1分もかからない。どの単語を選ぶかで効果が違う。専門家の腕の示しどころであるが、若い人の自由な発想で新しい展望が開ける。

ただし図のような形で世界言語地図を出すには、ちょっとした知恵が必要である。まず「Google マップ」を検索して、パソコンの画面に出す。左上の「Google マップ」と書いてある空欄に、例え

ば単語 okini を入力して「地図を検索」をクリックする。たいていは狭い地域（場合によっては1軒の店）が地図上に出る。地図左上の温度計のようなマークを下におろすと、アジア全体になり、世界全体の地図になる。

また左側の店名一覧をスクロールして、末尾を出して、「okiniの検索結果をすべて表示 (369件)」をクリックすると、他の店も地図に表れる。“okini”は店の名前ではなく、その店についてのクチコミや書き込みなどで使われていることもあるので、用心が必要である。

Google マップの画面の保存には、次の技法を使う。

1. 保存したい地図を画面一杯に出して、PrintScreen（キーボードによってはPrtScr, PrtScrn, PRtSCRなど）というボタンとCtrl（または同じ色）のボタンを同時に押す。
2. 次にワード（かワードパッドかエクセル）を開く。そして「ホーム」の「貼り付け」を押す。
3. 図が貼りこまれるので、適当な名前を付けて保存する。

4.2. Google マップの応用技術

Google maps の表示は3層に分かれる。

- 1 場所, 2 お店やサービス (店名), 3 クチコミ

画面上部の検索オプションは「すべての結果」「場所」「お店やサービス」に分かれる。何も指定しないとこの順に情報を出す。例えば「manga」で検索すると、「ブルキナファソの地名 付近の地図」が出る。目的と違うので、画面上の「検索オプションを非表示」をクリックし、「お店やサービス」を選択すると、狭い地域の地図が出る。世界全体を表示すると日本語mangaの普及が分かる。表記はあいまい検索である。例えば「ぞうり」で「草履」も出る。また「体操服」「体操着」も両方が出る。指定の文字連続だけを検索するための“ ”（半角）は使える。またごみを排除するためのマイナス記号（半角）-も使える（ただしつづりに注意、全角のスペースだと誤認する）。「京都」から「東京都」を排除するときなどに有効である。サイト指定（例site:go.jp）ができるので、例数が多すぎて地図上に全情報が出ないときなどに、限定するのに使える。

4.3. Google マップの高等技術

左側の店名リストを最後まで出すと、全resultsを出せることもある。リストは20まで出すとおしまいである。ただし店名カキコミが多い場合、パソコンの画面に出る地図の大きさに左右される。例えば「看板」については日本が圧倒的なので海外の例が地図に出ない。ただしバルーンの出方が不安定で、広域の地図にすると、全例を出せない。対策として世界地図・日本地図を細分して多くの図を出して、ワードなどに貼りつけたあと、並べればいい。

日本版Googleマップとアメリカ版google mapsでは、最初の地図の地域や地名表示が違う。韓国版では左の店名一覧が短い。例えばWelcomeでは、アメリカ版で世界全体にバルーンが出ない；日本版では世界全体に出る。

パソコンの画面の記録した日付は、右下に出る。

5. 言語的・経済的背景

Google マップの情報は限定的である。まず入力する文字の限界があり、アルファベットや漢字かなで検索すると、言語・文字の使用地域に規制される。ただインターネットの翻訳サイト（例 Google 翻訳）を使うと世界数十カ国語の相互翻訳が可能で、出てきた文字をコピーして Google マップで検索すると、読めない文字でも地図に出せるので、多くの外国語の検索もできる。

さらに経済的背景があり、経済発展が遅れて、商業化情報化が遅れている途上国の情報は得にくい。「Shop, store, 店」などを入力すると、経済力（GDP）の高い地域、人口密度の高い地域、交通手段の整った地域、「夜の地球」の明るい地域、コンピューターの普及した地域と一致する。人口の希薄な地域での言語使用状況は、Google マップでは分かりにくい。

とはいえ、グーグルマップによって、（日本および英語国以外の）世界の言語使用状況を、地図の形で視覚化して考察できる。極端にいうと、世界観が変わるほどの画期的研究手法である。

参考文献

- 井上史雄（2000）『日本語の値段』（大修館）
 ———（2001）『日本語は生き残れるか—経済言語学の視点から』PHP 新書
 ———（2010.11）「Google マップで見る関西弁の世界進出」『地域語の経済と社会』第 127 回 三省堂 word wise web
 ———（2010.12）「「体操服」の Google マップ」〈ことばの散歩道〉151 日本語学 29-15
 ———（2011.1a）「Google マップによる「モータープール」の世界分布」『地域語の経済と社会』第 132 回 word wise web
 ———（2011.1b）「消える雪」〈ことばの散歩道〉152 日本語学 30-1
 早川勇（2006）『英語になった日本語』春風社
 原口庄輔・原口友子編訳（1998）『新「国際日本語」講座』洋販出版
 三輪卓爾（1977）「外行語の昨日と今日—海を渡った日本語—」言語生活 312

〈注〉

- (1) 言語地理学と方言地理学の境界は薄れる。
- (2) ある単語について、世界最初の世界地図を作っているのかもしれない。レポートや卒業研究に便利な手法である。
- (3) 2010 年 10 月 11 日に呼称サッカーとフットボールの世界地図を知ったのがきっかけである。各種の世界言語地図をインターネット上の yahoo 画像検索で探す作業の過程で見つけた。以前から作りたかった単語レベルの世界地図である。2010 年 4 月 26-28 日にアップされた世界地図である。

World football languages 100427

<http://www.floatingsheep.org/2010/04/football-or-is-it-socce...>

以下のページを見ると、2009 年 3 月段階から、Google map の Place mark に使われる単語を手がかりにして、宗教や政治その他について多様な世界地図を作って公開している。

<http://www.floatingsheep.org/>